

縄文のむらから古墳のくにへ

本単元で育成する資質・能力

思考力・伝え合う力

- 1 日 時 令和2年6月24日(水) 5校時(13:15~14:00)
- 2 学 年 第6学年 男子6名 女子14名 計20名
- 3 単元名 「縄文のむらから古墳のくにへ」
- 4 単元観

(1) 学習指導要領に示された本単元にかかわる目標と内容

学習指導要領 第6学年

- (2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 - ア 次のような知識及び技能を身に付けること。その際、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。
 - (ア) 狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷(大和政権)による統一の様子を手掛かりに、むらからくにへと変化したことを理解すること。その際、神話・伝承を手掛かりに、国の形成に関する考え方などに関心をもつこと。

(2) 教科の本質に着目した本単元と前後の単元のつながり

1. わたしたちの生活と政治
↓
2. 日本の歴史
 - ・ 身近にある歴史を見つけよう
 - ・ 歴史博物館へ行こう、年表の見方を知ろう
 - (1) 縄文のむらから古墳のくにへ
↓
 - (2) 天皇中心の国づくり
↓
 - (3) 貴族のくらし

(3) 本単元について

我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や地図、年表などの資料で調べ、世の中の変化の様子を考え、表現することを通して、狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷(大和政権)による統一の様子を手掛かりに、むらからくにへと変化したことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする態度を養う。

5 児童観

(1) 昨年度実施した標準学力調査より、児童実態の分析を行った。

観点	クラス平均	全国平均	差
社会的事象への関心・意欲・態度	63.1	69.7	-6.6
社会的な思考・判断・表現	57.4	68.4	-11
観察・資料活用の技能	67.4	74.9	-7.5
社会的事象についての知識・理解	68.8	72.4	-3.6

全体的を通して、社会科の学習に対する課題は大きいことが分かる。その中でも特に、「社会的な思考・判断・表現」と「観察・資料活用の技能」の観点は、全国平均との差が非常に大きい。このことから、資料等から必要なことを読み取る力が弱いということ、得た知識をつなぎ合わせて考える力が弱いということが言える。よって、複数の資料を組み合わせて考える必然性のある課題を設定し、知識構成型ジグソー法を取り入れることで、伝え合う力、思考力の育成をめざしていきたい。

6 指導観

指導に当たっては、以下の点に留意して行う。

① 比較する活動を通して、時代の特徴をつかませる。

それぞれの時代は、前の時代を受けて次の時代へとつながっていく。そのことを意識づけるためにも、時代同士を比較する活動を行う。そして、今後の歴史学習の学び方の基礎を培っていく。今後の学習においても同様の切り口で各時代を追っていく予定。

② 複数の資料から必要な情報を関連付けて考える場を設ける。

前述したように、児童の資料活用力は著しく低い。その力を高めるためにも、また、多面的・多角的なものの見方を養うためにも複数の資料を活用する場を設定する。その一つの手法として、今回は知識構成型ジグソー法を用いた授業を行う。

③ 自己決定の場を設ける。

本時では「弥生時代は、縄文時代に比べてよい時代になったといえるだろうか？」について考える。学習前後に個人の考えを記述する場を設定する。児童は資料を活用しながら様々な考えを持つであろうが、最終的に自分自身でこの問いに対する答えを決定させるようにする。ジグソー法を用いた一連の学習過程で何度も対話することを通して、複数の資料から得た様々な情報を関連付けながらそれを根拠とし、自分なりの考えを持つことができるのではないかと考える。また、個人の意見を尊重しながら話し合うことで、集団としても深く考えることができるだろうと考える。

7 本単元で設定した目標

(1) 本単元で育てたい資質能力

資質・能力	評価規準
思考力	○課題解決に向けて、資料を適切に用いながら知識や情報を活用して考えることができる。比較して考えることができる。
伝え合う力	○伝えたい願いをもち、自分の考えとその理由を明らかにして相手に伝えることができる。話の中心に気をつけて聞き、質問したり感想を述べたりすることができる。

(2) 本単元で設定した評価規準

観 点	評 価 規 準
知識・技能	①世の中の様子、代表的な文化遺産などについて、遺跡や地図、年表などの資料で調べ、狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷（大和政権）による統一の様子を理解している。 ②調べたことを年表や文章などにまとめ、むらからくにへと変化したことを理解している。
思考・判断・表現	①世の中の様子、代表的な文化遺産などに着目して、問いを見出し、狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷（大和政権）について考え表現している。 ②狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷（大和政権）による統一の様子を関連付けたり統合したりして、世の中の変化の様子を考え、適切に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	①狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷（大和政権）による統一の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

8 指導と評価の計画(全7時間)

時	学 習 内 容	評 価	
		評 価 規 準・【評価方法】	資質・能力の評価
1	課題の設定・情報の収集 ○三内丸山遺跡や出土品の写真、「縄文時代の人々の1年の生活」の図などを見て、当時の人々がどのように暮らしていたのか話し合う。	○狩猟や採集の生活が営まれていたことについて、豊かな自然に着目して考え、表現している。【発言・ノート】	伝え合う力
2	課題の設定・情報の収集 ○板付遺跡や出土品の写真、米づくりの様子の想像図を見て、米づくりが始まり、人々の暮らしの様子がどのように変化したのか、気づいたことを話し合う。	○人々が定住してむらを作るようになったことなどについて、農耕に着目して考え、表現している。【発言・ノート】	思考力
3	課題の設定・情報の収集 ○三内丸山遺跡と吉野ヶ里遺跡の想像図を調べて、それぞれの生活の様子について、わかったことや考えたことを話し合う。	○狩猟採集の生活から農耕の生活への変化に着目し、学習問題を見出している。【発言・ノート】 ○学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。【発言・ノート】	思考力 伝え合う力
4 (本時)	情報収集・整理・分析 ○米づくりの広がりによって、むらの様子がどのように変わっていったのかを調べる。 知識構成型ジグソー法	○必要な情報を読み取り、世の中の様子がむらからくにへと変化した様子を理解している。【発言・ノート】	思考力 伝え合う力

5	<p>情報収集・整理・分析</p> <p>○仁徳天皇陵古墳、古墳を築いている様子の想像図、出土品などから、古墳づくりの目的、王や豪族たちの力の大きさについて考え、話し合う。</p>	<p>○必要な情報を読み取り、古墳の規模やその出土品、古墳の広がりなどを理解している。【発言・ノート】</p>	<p>思考力</p>
6	<p>情報収集・整理・分析</p> <p>○大和朝廷の力が各地に広がり、国土がどのように統一されていったのかを調べる。</p>	<p>○必要な情報を読み取り、有力豪族を中心に大和朝廷によって大和地方を中心に地域の統一が進められたことを理解している。【発言・ノート】</p>	<p>思考力</p>
7	<p>振り返り</p> <p>○学習問題について調べてきたことを、ノートに整理し、まとめる。</p>	<p>○狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷(大和政権)による統一の様子を関連付けたり総合したりして、世の中の様子の変化を考え、適切に表現している。【発言・ノート】</p>	<p>思考力 伝え合う力</p>

学校名： 安芸太田町立加計小学校

授業者： 佐々木 裕美

教材作成者： 佐々木 裕美

授業日時	令和2年6月24日(水)	教科・科目	社会科
学年・年次	第6学年	児童生徒数	20名
单元名	縄文のむらから古墳のくにへ	本時/この内容を扱う全時数	4/7
教科書及び教科書会社	「新しい社会6 歴史編」東京書籍		

授業のねらい(本時の授業を通じて児童生徒に何を身につけてほしいか、この後どんな学習につなげるために行うか)
○3つの資料から 1) 弥生時代に争いが起こるようになったことと、そのきっかけ 2) むらとむらが対立するようになったこと。 3) 争いは、むら(くに)を守るだけでなく、むら(くに)を豊かにするものになったということ。 に気づいてほしい。 ○今後の歴史学習においても、主なできごとや残されている史料をもとに時代の特徴を理解する力をつけてほしい。そのため、今回は縄文時代との比較を常に行う。
メインの課題(授業の柱となる、ジグソー活動で取り組む課題)
弥生時代は、縄文時代に比べてよい時代になったといえるだろうか?
児童生徒の既有知識・学習の予想(対象とする児童生徒が、授業前の段階で上記の課題に対してどの程度の答えを出すことができそうか。また、どの点で困難がありそうか。)
○前時に縄文時代のくらしの様子と、争いのきっかけの一つである「田に引く水や土地」について学習している。 ○縄文時代と弥生時代のくらしの様子資料から、多くの児童が「よい時代になったといえる(5)」と解答するであろう。または、「土地や水を奪い合った可能性」に気づいた児童は、争いはじめに気づき、少し評価を下げるのではないかと予想する。 ○今回は、「とてもよくなった」から「とても悪くなった」までの11段階から、自分の考えにより近い番号を選ばせるようにする。そのため、ジグソー活動でグループの意見をまとめる際に難しさが生じる可能性がある。しかし、自分と違う意見を聞くことを楽しみにしたり、自分の意見に取り入れたりすることのできる「対話をするからこそ身につく力」を高めるきっかけにできたらいいと考えている。

期待する解答の要素（本時の最後に児童生徒が上記の課題に答えるときに、話せるようになってほしいストーリー、答えに含まれてほしい要素。本時の学習内容の理解を評価するための規準）	
弥生時代が縄文時代と比べてよい時代になったと言い切ることは難しい。それは、よくなった部分と悪くなった部分の両方があるからだ。やはり、争いにより多くの人々の命が奪われたことは、決してよいことだとは思えない。しかし、争いから仲間を守るために堀や柵で囲むというシステムができ、やって来た敵を倒すための武器（鉄など）が発展し、同時に農具も発展し、米づくりをより効率的に行えるようになったことは（本当は逆だと思うが）、次の世にもつながるものを開発したよい時代であったとも言えるだろう。	
各エキスパート＜対象の児童生徒が授業の最後に期待する解答の要素を満たした解答を出すために、各エキスパートで抑えたいポイント、そのために扱う内容・活動を書いてください＞	
エキスパート A「米」 ①縄文時代と弥生時代の食事の比較 ②高床倉庫 ○米を食べていない縄文時代に比べて、弥生時代は人口が2倍以上に増えている。 ○高床倉庫ができたことで、米の保存が可能になった。 △米をめぐる争いが起きた。	
エキスパート B「人骨＝争い」 ①吉野ケ里遺跡の環濠や柵のようす ②首のない人骨 ③矢じりがささったままの人骨 △弥生時代に起こった争いは、人の命を奪い合うほどの激しいものであった。	
エキスパート C「鉄の道具」 ①木製の農具（弥生初期）と鉄製の農具（弥生後期）の比較 ○渡来人により、米づくりだけでなく銅や鉄などが日本にやって来た。 ○弥生時代初期は木製の農具だったが、渡来人がもたらした鉄製の物により鉄製の農具を開発することができ、農作業がはかどるようになった。 △当時、鉄製の農具は珍しい物であったため、鉄製の農具をめぐる争いが起きた。	
ジグソーでわかったことを踏まえて次に取り組む課題・学習内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・他国とのつながり（弥生時代） ・くにづくりを進めた方々や豪族たちの力の大きさについて（古墳時代） ・大和朝廷が豪族を従え、国を統一していったことについて 	

本時の学習と前後のつながり

時間	取り扱う内容・学習活動	到達して欲しい目安
これまで	大昔の暮らし 板付遺跡と米づくり	縄文のむらの暮らしの様子に関心をもつ。 米づくりが始まったころのむらや人々の様子について関心をもつ。
前時	縄文時代と弥生時代の暮らし	縄文のむらと弥生のむらを比べて、人々のくらしやむらの様子の違いには米づくりの始まりが大きくかかわっていることに気づく。
本時	むらからくにへ	米づくりの広がりによって、むらがくにへと発展していったことを理解する。
次時	巨大古墳と豪族	古墳の大きさや出土品などの様子から、くにづくりを進めた王や豪族たちの力の大きさについて理解する。

8分	<p>・クラス全員の立場を把握する。</p> <p>エキスパート活動</p> <p>A 米 B 人骨＝争い C 鉄の道具</p>	<p>○前時に書いたプレを基に集計して数値を提示する。</p> <p>○弥生時代の「発展性」と「争い」、それぞれを別の資料にすることで、ジグソーでの発見性を強めることのできるような資料にする。</p>
12分	<p>ジグソー活動</p> <p>それぞれの要点を説明し合い、ホワイトボードに簡潔にまとめる。</p>	<p>○ここでも、グループとしての考えを11段階の中から選ばせ、その理由の要点だけを明確に書くよう、例を示しながら指導する。</p>
15分	<p>クロストーク</p> <p>各グループでまとめたことを発表する。</p> <p>○争いに勝ったらどうなるの？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・負けた村の物を奪える。 ・その土地も自分たちのもの？人も？ <p>○自分の考えは、初めと比べて変わりましたか？（ジグソー班で再度話し合う）</p>	<p>○ホワイトボードに書かれた要点の詳細を伝えるという意識を持たせて説明させる。</p> <p>○適宜、もう一度資料を見返す時間を設ける。</p>
5分	<p>まとめ</p> <p>○弥生時代は、縄文時代に比べてよい時代になったといえるだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを書く。 	<p>○学習前と学習後の自分の考えの変容を実感できるようにする。</p>

グループの人数や組み方
3人×4グループ 4人×2グループ 計20名